

令和4年度 文京区立金富小学校 授業改善推進プラン

第4学年

教科	指導上の成果と課題の分析	授業改善の具体的な方策
国語	<p>【知識・技能】</p> <p>1学期の達成率は68%だった。新出漢字を学ぶときには、間違えやすいところに印を付けたり、部首や熟語から意味を確かめたり、丁寧に取り組む様子が見られた。しかし、ノートやテスト等で実際に活用する際には、点画などをあやふやに書いたり、漢字の意味があいまいで、言葉と漢字が結びついていなかったりする児童がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字の練習の際に間違いやすいポイントを提示したり、熟語や意味を児童に調べさせたりすることで、漢字の定着を図る。 ・学習した漢字をさまざまな熟語でテストをすることや一人1台端末のドリル学習を活用することで反復し、定着を図る。
社会	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>1学期の達成率は66%だった。学習問題に対し、解決に向けての予想や計画を丁寧に組み立て、具体的に調べることが習慣となりつつある。一方で、資料を用いて表現することに苦手意識をもつ児童がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し資料を読み取る活動や一人1台端末を用いてより深く調べる学習を増やし、その後に重要な点を話し合ったり発表したりして共有する活動を通して、資料活用による表現力を高める。
算数	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>1学期の達成率は、83%だった。数学的に優れた考え方をする児童もいるが、自分の考えを筋道立てて説明できない児童や、決まったやり方でしか考えられない児童がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決場面で多様な考え方をしたり、自分の考えを友達に伝え合ったり、友達の考えを聞いて分かったことをまとめたりする活動を通して、思考力や表現力を高めていく。
理科	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>1学期の達成率は76%だった。理科の問題解決の過程を意識した授業を展開したことで、児童は見通しをもち学習に取り組める児童が増えてきた。一方で、自分の考えをもち、表現しながら学習を進めることに苦手意識を感じている児童もいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの児童が見通しをもち学習している一方で、なかなか自分の考えをもつことが難しい児童もいる。意図的なグルーピングをすることで、協働的な学びを進め、深い学びにつなげていく。
体育	<p>【知識・技能】</p> <p>小型ハードル走、機械運動等について、自分なりのめあてをもって取り組んでいた。しかし、正しい体の使い方や綺麗なフォーム等の理解・実践については課題がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・手本となる動きを動画で確認したり、自分の動きを一人1台端末の動画機能で撮って見比べたりすることで、正しい体の動かし方に近付ける。